

# 地震被災状況を視察

自民党京都市議員団



避難所にて現地派遣京都市職員より説明を聞く

自民党京都市議員団は、5月6日(金)仙台市の被災

状況を視察して参りました。仙台市役所での意見交

## 仙台市の被害6400億円

換の後、京都市の保健福祉局の職員が派遣されていたサンピア

他、被災が大きかった若林区の荒浜地区や南蒲生浄化センターを仙台市の自民党議員団の皆様



被災地を視察する自民党議員団(写真上は仙台市役所で、下は南蒲生浄化センターで)

特に仙台市民の7割の下水を処理している南蒲生浄化センターの被害は甚大で、ライフラインや地下鉄、道路橋梁等の市有施設関係

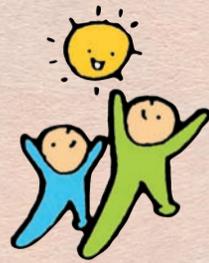


で約3500億円、住宅・宅地で約230億円、農林水産業関係で約510億

円、商工業関係で約2100億円、仙台市全体で推計約6400億円の被害が出ているということです。

京都市では6月19日現在で延べ1226人の職員を派遣、6月1日から10ヶ月間、仙台市職員の身分も併任する職員を長期にわたって派遣し、今後は中長期的な支援をして参ります。

# 自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成23年(2011)7月1日発行

■発行人/井上与一郎 ■編集長/田中明秀・山元あき  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/

No.34

### 5月 補正予算 過去最大309億9800万円

## 議員報酬の一部 震災復興支援へ

統一地方選挙後初めて招集された5月定例会において、東日本大震災の被災地復興や震災の影響を受けた市内の中小企業支援を盛り込んだ過去最大309億9800万円の補正予算が成立しました。

今回の補正予算の財源は国から交付される地方交付税などが大部分を占めますが、不足額2億6000万円については、当初、公債償還基金の取り崩しにより財源を確保するとなっていました。公債償還基金は、

### 【補正予算の内容】

- 職員派遣や救援物資の搬送など被災地への支援(1億8900万円)
- 「震災支援総合案内コールセンター」の運営など被災者の受け入れ支援(6000万円)
- 市内中小企業の資金繰りを支える中小企業融資制度預託金の拡充など経済対策(303億3400万円)
- 地域防災計画の見直しなど本市防災対策の総点検(1500万円)

将来の市債返還に備えて積み立てている京都市にとって大切な「貯金」であり、これを取り崩すことは出来る

限り避けなければならぬものです。そこで京都市会では、議会改革の一環として今年度行っている議員報酬の一部削減と、4月から廃止した日額5000円の費用弁償(本会議や委員会に出席した際に議員に支払

われていたもの)によって生じた1億300万円を震災復興財源の一部に充て、公債償還基金の取り崩し額の減額を行う修正案を最終本会議で可決致しました。また、「震災からの復興に向けた第2次補正予算の早期編成を求める意見書」や「今後の電力需給対策に関する意見書」など4つの意見書を国に提出することも決定。自由民主党京都市議員団は、責任ある市会第一党として確かな判断と行動力を示し、今後とも京都市財政の健全化及び東日本大震災の復興に全力で取り組んで参ります。

第77代京都市会議長

### 小林正明

平成23年5月市会定例会において、歴史と伝統ある第77代京都市会議長に就任させていただきました。

近年、市民の皆様のご要望が多様多様化、そして高度化する中、地方自治体の意思決定や市長の事務執行の監視と評価、更には重要な政策形成へ

## 見える市会、伝わる市会に

の取組など市会の役割は、ますます重要なものとなってきております。

こうした状況の中、京都市会としては、市民の皆様のご期待と信頼に応えるため、これまで以上に行政に対する監視機能の強化や政策形成能力の向上を図り、議会の権能強化を高めていくとともに、市民の皆様が市会が一層身近に感じることができるよう、市民

から「見える市会」、市民に「伝わる市会」となる取組を進める必要があると考えております。

今後とも更なる市政発展のため、門川市長と適度な緊張関係を保ちつつ、自民党京都市会議員団をはじめとする市会議員とともに誠心誠意全力を傾注して参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 加藤盛司議員の質問項目

- ・東日本大震災の被災地を視察した感想及び地域防災計画の見直し
- ・マニフェストの達成状況及び共汗の成果
- ・京都経済の見直し及び回復策
- ・未来まちづくりプラン及び新基本計画に対する決意
- ・商業施設の立地誘導

筋を示すべきですが、いかがですか。

また、市民との共汗を理念に、市民の先頭に立って、市民と共に汗することを掲げられた成果への感想をお聞かせ下さい。

**門川大作市長**（答弁）1444人にもほる職員の削減など徹底した行政改革の断行と、決して縮小一辺倒に陥ることなく、まずは福祉や教育、市民生活の安心安全を守り、中小企業、地場産業をしっかりと支え、同時に、徹底した未来志向の下、環境モデル都市の推進や歩くまち・京都の推進など、未来への先行投資も積極的に行って参りました。

来京都まちづくりマニフェスト」は、平成22年度末現在で、9割近くを移行に移すことができ、最終年度となる本年度は、残る事業の実現に全力で取り組みます。

また、本格的な実施を見合わせている事業なども一部ありますが、そうした事業についても、様々な創意工夫を凝らしながら、可能な限りの進捗を図って参ります。

## 防災計画速やかな見直し

### 対策総点検 年内に報告 想定外も念頭に

防災計画の速やかな見直しを表明されていきますが、今後の京都市防災計画の見直しについての基本的な考え方についてお答え下さい。

**加藤盛司議員**（中京区）

**加藤盛司議員**（質問）市長は記者会見などで、本市の防



見直しが急がれる22年策定の京都市地域防災計画書(冊子)

**門川大作市長**（答弁）被害想定のある課題の抽出と必要となる

## 代表質問

5月 定例会

対策の検討のため、防災対策を総点検する防災会議を開催し、課題に応じた専門部会で検討を行うこととしました。想定外のことも起こりうる

### マニフェストの達成、9割進む

**加藤盛司議員**（質問）この

いうことを常に念頭において検証を行い、8月に中間報告、12月に最終報告を取りまとめることとしております。

## これからの被災地支援は

### 息長く復興復旧へ

京都市の総力をあげて

**寺田一博議員**（上京区）

**寺田一博議員**（質問）私たちが、自民党議員団は去る5月6日に仙台市を訪ねました。現地で伊藤仙台市副市長より

これまでの対応とこれからの取り組みを聞き、また仙台市議会議員と意見交換を致しました。自民党議員団で選挙期間等に募金箱を設置していたものを集め、直接副市長にお渡し致しましたが、感謝いた

だいた事よりむしろ「支援は

#### 寺田一博議員の質問項目

- ・東日本大震災の被災地支援の取組
- ・地域における防災対策
  - 人の絆(自治会加入率向上への条例化)
  - 防災計画での自主防災リーダーの在り方
  - 防災時要援護者リストの実用性
- ・住宅の耐震化の促進
- ・上京区総合庁舎整備計画の区民に対する周知
- ・京都市政策キャラクター(ゆるキャラ)の活用(要望)

これまでの本市の積み重ねてきた共汗の取組の成果を基に、新しい基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」を、市民の皆様と行政が目標と行動を共有する「共汗型計画」として、策定できました。今後とも「共汗・協働」の市政運営に努めて参ります。

現在までの被災地に対する短期支援の取組についての総括とこれからの中長期的支援についてどのように考えておられるのか？お答え下さい。

**門川大作市長**（答弁）基礎自治体として本市職員の強みが十分発揮できるような分野等、京都市の総力をあげて、被災地及び被災者の復旧・復興を支援する取組を息長く進めて参ります。

(寺田議員の質問3面に続く)

実戦ながら緊迫の防災訓練現場本部(22年度・上京区)



## 要援護者の情報活用

**寺田一博議員**(質問) 京都市におきましても災害時の要援護者リストは、以前私がその必要性を提言し、現在作成はされているものの役所の金庫に厳重に保管されているということであり、残念ながら災害発生時に地域でお互いに助け合うという時にそれが使えない状況です。要援護者リストが実際の被災現場で利用可能な計画の見直しを求めます。

**門川大作市長**(答弁) 要援護者に関する情報を、地域が共有することにより、災害発生直後から速やかに安否確認

や救護活動を行える体制を備えることは重要であると認識しております。今後、要援護者に関する情報を現場で活用できるように、検討を進めてまいります。

## 古い木造住宅の耐震促進策提言

**寺田一博議員**(質問) 私がかねてから指摘をしておりますように、京都には古い木造住宅が袋地等の細街路に多く建築されており、地震発生時には建物倒壊から生じた道路閉塞による避難、消火、救助活動の困難性が高いだけ

なく、出火・火災延焼による市街地大火発生の危険性をはらんでおります。こうした歴史都市京都特有の状況を踏まえた耐震促進策を提言致します。

**門川大作市長**(答弁) 耐震改修を促進していくためには、議員御指摘のとおり、市民自らが一歩を踏み出せるような働きかけが必要であり、すまいづくりの担い手として市民と向き合う実務者である「街の匠」の果たす役割は、きわめて重要であると考えております。

さらに普及に向けた国の動向なども踏まえて導入支援の方法を検討してまいります。

## 阪急嵐山駅の駐輪場整備急げ

**田中明秀議員**(質問) 阪急

嵐山駅の駐輪場整備について、阪急電鉄とどのように協議しているかとされているのか、お聞かせ下さい。

**西村文治建設局長**(答弁) 阪急電鉄に対し、周辺整備とともに有効な駐輪対策を講じるよう働きかけており、駐輪場に関するアンケート調査を実施致しました。

今後、阪急電鉄と連携を図り、駐輪場整備を含む総合的な駐輪対策の実施に向け、取り組んでまいります。

# 地球温暖化対策に影響?

## 着実に目標達成へ

### オール京都の力を結集

**田中明秀議員**(西京区)

**田中明秀議員**(質問) 京都市は昨年度地球温暖化対策条例を全面改正して、国内外を先導する取組を進めようとしておられますが、東日本大震災によってどのような影響が考えられるでしょうか。

**門川大作市長**(答弁) 一時

的に火力発電への依存度が高まることで、温室効果ガスの削減目標が困難になるのではと危惧されておりますが、市民や事業者の間で節電や省エネの関心が高まっています。

オール京都の総力を結集して果敢にチャレンジして参ります。また地球温暖化対策を着実に前進させるため、「歩くまち京都」実現に向けた取組、

### 田中明秀議員の質問項目

- ・東日本大震災による温室効果ガス削減の取組に対する影響
- ・再生可能エネルギーの利用拡大
- ・東日本大震災後の京都観光の取組
- ・食の安全安心確保に向けた取組
- ・東日本大震災の被災地の農業支援
- ・農業振興の取組
- ・中学校教科書の採択
- ・阪急嵐山駅の駐輪場整備

再生可能エネルギーの地産地消を徹底的に目指す「スマートコミュニティ」の構築、さらに京都の地域力を生かした「エコ学区」事業などを市民

の皆様や経済界などと一体となり更に推進して参ります。

**田中明秀議員**(質問) 低炭素、省エネ型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換で、エネルギー消費量を削減し、太陽光発電システム等の更なる普及によりエネルギーの地産地消、再生可能エネルギーの拡大を進めるべきと考えますが、いかがですか。

また、住宅用蓄電池の導入についてはどのように検討されておられるでしょうか。

**門川大作市長**(答弁) 住宅

用太陽光発電システムの普及のため、前年度当初予算額の2倍の予算を確保致しました。この4月、5月の2ヶ月で前年度比約3倍の申請をい

## 自民党議員の所属委員会

委員会	常任委員会				特別委員会					
	経済総務	くらし環境	教育福祉	まちづくり	交通水防	市会運営委員会	予算	決算		
委員長	田中英之		高橋泰一朗	津田大三		加藤盛司	富きくお	①	②	③
副委員長		山元あき	田中明秀		山本恵一		中川一雄	吉井あきら		
委員	田中英之	内海貴夫	井上亨一郎	高橋泰一朗	繁 隆夫	大西 均	加藤盛司	井上亨一郎	加藤盛司	大西 均
	寺田一博	桜井泰広	加藤盛司	田中英之	津田大三	小林正明	田中明秀	内海貴夫	繁 隆夫	小林正明
	富きくお	中村三之助	島本京司	寺田一博	富きくお	下村あきら	寺田一博	桜井泰広	高橋泰一朗	下村あきら
	橋村芳和	山元あき	田中明秀	西村義直	中川一雄	橋村芳和	山元あき	島本京司	田中英之	富きくお
	山元あき			吉井あきら		椋田隆知		田中明秀	津田大三	橋村芳和
	山本恵一					山本恵一		中川一雄	寺田一博	椋田隆知
	吉井あきら						中村三之助	西村義直	山本恵一	

\*特別委員会①は第1分科会、②は第2分科会、③は第3分科会  
\*市会運営委員会の加藤議員、寺田議員は理事



放置自転車であふれる阪急嵐山駅付近

このたびの東日本大震災により被災された皆さまに心からお見舞い申しあげます。被災地の皆さまの安心・安全と一日も早い復旧・復興をお祈りします。

自民党京都市会議員団は大震災を教訓に、京都市の防災計画についてどうあるべきか、どう取り組むか、次のようにコメントしました。

**小林正明** 北区



行政だけでなく、住民・企業・ボランティア等が連携し迅速な災害対応ができるように、消防団・自主防災会等、地域活動への更なる支援が必要。

**山本恵一** 北区



地域の絆を大切に、関西広域連合との連携や事業所と自主防災会との連携を促進し、耐震化も含めた防災機能の一層の強化が不可欠です。

**中村三之助** 上京区



必ず起こる大地震の更なる震災対策の強化は勿論、現下の異常な気候変動から生じるゲリラ豪雨の万全の対策も本市として肝要です。

**寺田一博** 上京区



「災害発生直後、被災者を助けたのは被災者でした。」と言われていきます。地域の絆が最高の防災対策であるとあらためて感じております。

**大西均** 左京区



大地震の被害は広範に渡る。公共施設や老朽木造住宅の耐震化を進めなければならぬが、今後、防災計画の原点に、原子力発電の是非が問われる。

**桜井泰広** 左京区



被害想定を設定せず、花折地震対策、原発対策、インフラの耐震改修、この三点の総点検を早期に実施する必要があると考えます。

**加藤盛司** 中京区



「想定外」という言い訳をしなくてもいい防災計画を作る。市民の皆さんが安心・安全に暮らせる社会を構築する。大胆な見直しを進めます。

**津田大三** 中京区



ハード整備による安全の確保。ソフトの充実による安心の担保。どこまでが本当に必要かを根本から見つめなおさなければなりません。

**内海貴夫** 東山区



大震災にて人も地域社会も単独では存在し得ないことを再確認いたしました。京都市の防災対策の総点検と、見直しに取り組みます。

**富きくお** 山科区



大震災を教訓に防災計画の見直し・避難拠点となる建物の耐震強化を図り、地域の絆をより一層深め、互いに助け合う仕組み作りが必要です。

**吉井あきら** 山科区



ハード面だけではなく、日頃からの家族の絆、地域コミュニティの大切さ等、ソフト面からの対策を講じていくことが大切です。

# 京の防災計画 どう取り組む？

## 東日本大震災を教訓に『自民党市会議員団』

**下村あきら** 下京区



危機管理の基本は、最悪を想定し対処すること。地域防災計画に原発事故対策の樹立等、抜本的な改正を行い、災害に強いまちづくりの推進を。

**棕田隆知** 南区



災害時における水の問題は、最重要であります。本市に於いても耐震型防火水槽等の整備を急ぎ、市民の安心安全を推進します。

**島本京司** 南区



世界的歴史都市であるがゆえに自然災害に弱い都市構造や建造物、道路網を整備強化し、生活と文化、教育を絶対的に守り通さねばなりません。

**井上与一郎** 右京区



今回の震災を教訓として防災計画の見直しは喫緊の課題ですが、同時に地域の自主防災組織と意識の更なる充実・強化が重要です。

**田中英之** 右京区



市民と行政が知識・知恵を出し、防災計画・災害対策を自ら作り上げることが大切。真の地域力が生まれ、困難も乗り越えられるはずです。

**山元あき** 右京区



今回の震災を受け、防災計画の見直しが急がれますが、災害時に拠点となる市庁舎の一刻も早い整備を行う必要があると考えます。

**田中明秀** 西京区



学校や公共施設の耐震補強を推進し、太陽光発電や蓄電池等の導入を図ると共に、地域コミュニティ向上にむけた取組をしっかりと進めます。

**西村義直** 西京区



いつ発生するか分からない災害にも速やかに対応できるように日々の生活を通して安心・安全を基に、より良い防災対策の構築を皆様と目指します。

**高橋泰一朗** 伏見区



地域力が再建の鍵を握るとされております。貴方の負託にこたえるべく確かな知的能力と情報を聴取し、防災体制を確立し対応します。

**繁隆夫** 伏見区



市域を超えた広域、悲惨な被害の発生など、予測を大きく超える災害の発生にも備えた全国規模の官民支援の受入れを含めた防災計画とする。

**橋村芳和** 伏見区



伏見も秀吉の時代、大地震に見舞われた。約20年間の消防団活動を、所属する市会の消防委員会に反映し、地域防災計画の見直し等に取り組みます。

**中川一雄** 伏見区



災害は、忘れた頃にやってくる!!常に防災意識と、非常用持ち出し点検を!!京都市の地域防災対策を最優先に取り組みなければなりません。

〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
自民党京都市会議員団  
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。